

日本史特殊講義1B－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-202
選択必修 2単位

相澤 央

1. 授業の概要(ねらい)

古代律令国家による地域支配や地域社会の実態について、特定の地域をモデルケースとして取り上げて考察する。秋期は越後国・佐渡国を主とした高志(越＝北陸)を取り上げる。古代の高志は、越後国の北方に蝦夷が居住し、城柵が設置された特殊な地域だった。また佐渡国は古代国家の北の辺境と認識されていた。この越後・佐渡を主とした高志を舞台として展開した、地域支配や交通、農業経営、対外関係などについて、文献史料だけではなく、考古資料も活用しながら具体的に論じる。

2. 授業の到達目標

①律令国家による高志支配の実態や地域社会の実像について理解する。

②授業の中で特に興味をもったテーマについて、参考文献を読むなどして理解を深め、自分なりの見解も交えながらレポートにまとめる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内容についての感想・質問(30%)と、4000字程度の期末レポート(70%)で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

相澤央 『越後と佐渡の古代社会』 高志書院

小林昌二 『越と古代の北陸』 名著出版

5. 準備学修の内容

授業で紹介した参考文献を熟読し、自分なりの見解をもって次回の授業に出席すること。

6. その他履修上の注意事項

毎回、授業内容についての感想・質問を提出する。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方などについてのガイダンス
- 【第2回】 古代の越後国・佐渡国の環境
- 【第3回】 越後国の成立と蝦夷政策
- 【第4回】 淳足柵の造営と王権
- 【第5回】 古代辺境地域の郡制支配
- 【第6回】 古代の郡支配
- 【第7回】 古代の出挙運営の実態
- 【第8回】 税物の調達から運送まで
- 【第9回】 平安前期の越後国と富豪層の活動
- 【第10回】 田起こし労働と人々の動員
- 【第11回】 賃租と木簡
- 【第12回】 古代越後国の陸上交通
- 【第13回】 古代越後国の内水面交通
- 【第14回】 北の辺境・佐渡国の特質
- 【第15回】 佐渡国の鵜